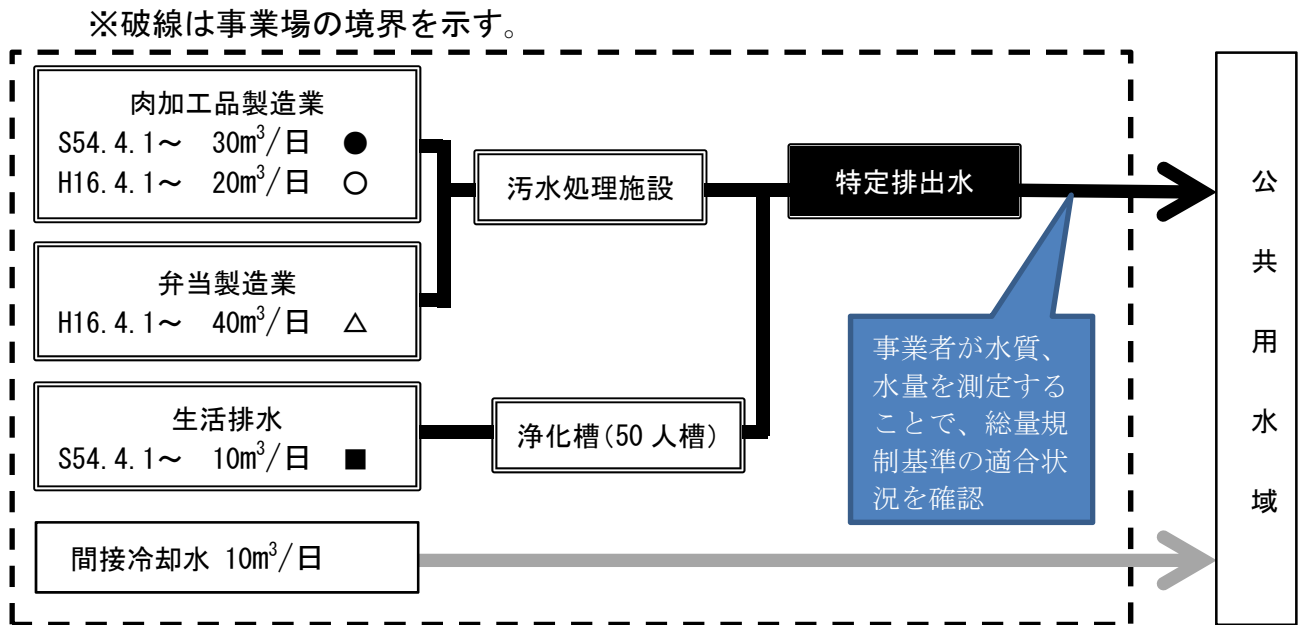


総量規制基準の計算例

設置時期が異なる複数の業種に係る工程を有する指定地域内事業場を例に、CODに係る総量規制基準の計算例を示す。



CODに係る愛知県の7次C値

(単位：mg/L)

整理番号	業種その他の区分	Cco	Cci	Ccj
		S55.6.30 以前の水量に適用	S55.7.1~ H3.6.30の 水量に適用	H3.7.1 以降の水量に適用
5	部分肉・冷凍肉製造業又は肉加工品製造業	● 40	40	○ 30
212	弁当仕出屋又は弁当製造業	50	40	△ 30
232 ア	し尿浄化槽（処理対象人員が200人以下のもの）、社員食堂のちゅう房施設等生活に伴う施設に係るもの	■ 60	40	40

当該指定地域内事業場に係るCOD総量規制基準は次の計算式で算出された値である。

$$\begin{aligned}
 L_c &= (C_{co} \times Q_{co} + C_{ci} \times Q_{ci} + C_{cj} \times Q_{cj}) \times 10^{-3} \\
 &= (40 \times 30 + 40 \times 0 + 30 \times 20) \times 10^{-3} \quad \leftarrow \text{肉加工品製造業分} \\
 &\quad + (50 \times 0 + 40 \times 0 + 30 \times 40) \times 10^{-3} \quad \leftarrow \text{弁当製造業分} \\
 &\quad + (60 \times 10 + 40 \times 0 + 40 \times 0) \times 10^{-3} \quad \leftarrow \text{生活排水分} \\
 &= 1.8 + 1.2 + 0.6 \\
 &= 3.6 \text{ (kg/日)}
 \end{aligned}$$

この事業者は、CODの汚濁負荷量が3.6 kg/日を超過しないよう、公共用水域に排出する特定排出水の濃度及び水量を管理しなければならない。